



2021年2月12日

各位

会社名 東京ボード工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 井上 弘之  
(コード: 7815 東証第二部)  
問合せ先 取締役経営管理部長 大矢宣之  
(TEL: 03 - 3522 - 4138)

### 業績予想及び中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、2020年6月30日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の業績予想を下記のとおりいたしましたのでお知らせいたします。

また、これに伴い、本日開催の取締役会において、2019年11月14日に公表いたしました「中期経営計画の修正に関するお知らせ」に記載しておりました、中期経営計画における最終年度の経営数値目標を下記のとおり修正する旨の決議を行いましたので、あわせてお知らせいたします。

記

#### 業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	7,426	2,889	2,999	2,118	-
増減額(B - A)	-	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	7,755	3,294	3,342	1,667	644.81

#### 修正の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で先の見通しが困難なため、業績予想を未定としておりましたが、最近の業績動向や現時点で入手可能な情報及び予測等に基づき、上記のとおり公表いたします。

今回公表した業績予想は新型コロナウイルス感染症の影響が2021年3月期通期にわたり継続することを前提としております。今期は、コロナ禍の影響を受けて建設投資が縮小・延期されるなど、建設需要は前年を下回る厳しい状況が続いております。経済活動は段階的に再開されてきましたが、コロナ禍の収束が見えない状況の中で東京を中心に再び緊急事態宣言が出されるなど、引き続き厳しい状況が続くことが予想されます。

#### 中期経営計画の修正について

	2021年3月期 修正前	2021年3月期 修正後	増減
売上高	百万円 14,578	百万円 7,426	百万円 7,151
営業利益又は営業 損失( )	851	2,889	3,740
経常利益又は経常 損失( )	838	2,999	3,837
EBITDA	2,731	1,297	4,028

#### 修正理由

当社グループでは、主力製品のマンション向け床用のパーティクルボード(以下PBという)を中心とする製造販売から、長尺構造用パネル用PB「壁武者」を第二の柱とすべく、最新鋭設備の新工場である佐倉工場のフル稼働を2020年2月に達成し生産体制を構築してまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症による影響等により、当社グループが事業の主体を置く住宅市場において新設住宅着工戸数が連続して前年同月を下回る状況が続いており、中期経営計画の最終年度となる2021年3月期の中期経営計画の達成は困難であると判断し、上記の2021年3月期の業績予想のとおり修正いたします。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上